

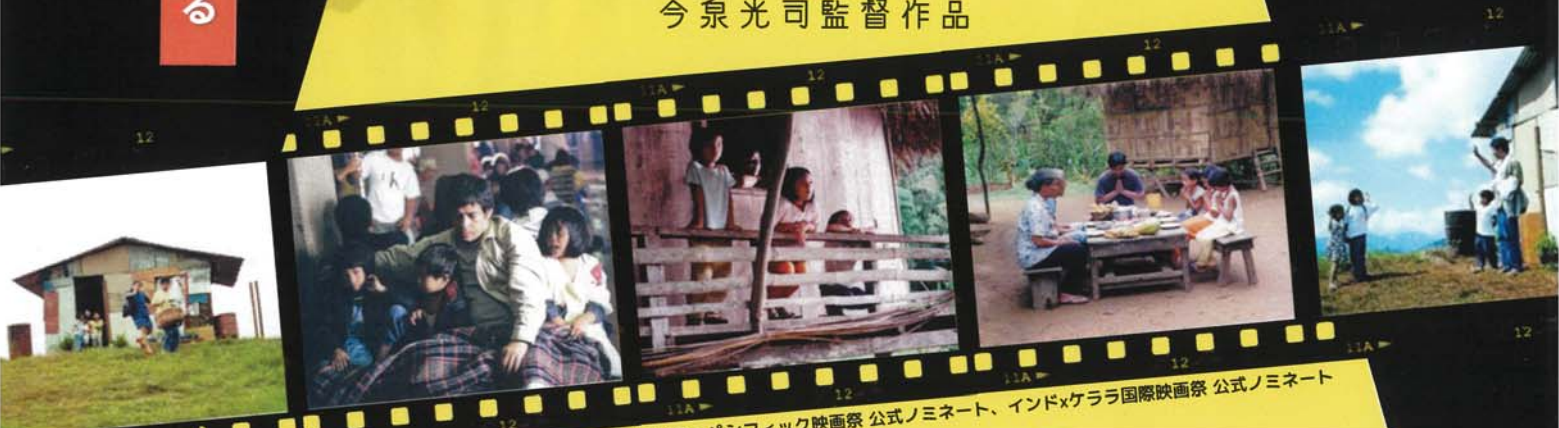
映画を観る、語り合う、考える



この地球で生きるために、

バリアフリー字幕付き 上映会&対談 『アボン小さい家』

今泉光司監督作品



サンパウロ国際映画祭2005公式ノミネート、ベルリン アジア・パシフィック映画祭 公式ノミネート、インドネシア国際映画祭 公式ノミネート

2024年 **11月10日** 日

会場：港区障害保健福祉センター 多目的体育室 6F
東京都港区芝1丁目8番23号障害保健福祉センター

時間：13:00 - 16:00 (開場12:00)

料金：500円

申込：完全予約制 (定員120名) ※以下のQRコードにて 〆切 10月10日

対談：今泉光司氏、今井ミカ氏、加藤慶子 ※日本語⇄日本手話通訳あり

本作品への想いや制作背景、歴史や異文化を踏まえた演出について語り合います！

様々な事を考えさせられる映画です
トークショーも楽しみに
是非、観に来てください
お待ちしております！



加藤慶子
(実行委員長)



今泉光司氏 (映画監督)

『死の棘』『眠る男』などの小栗康平監督の助監督を経て、単身フィリピンの山岳地帯に移住。約7年の年月をかけて本作品を完成。NPO法人サルボン代表。



今井ミカ氏 (映画監督)

ろう者。『虹色の朝が来るまで』『ジンジャーミルク』などろう者のコミュニティを描く映画が多く、受賞多数。株式会社サンドプラス代表。

【あらすじ】3人の子供を持つ日系フィリピン人ラモットは、妻が外国に出嫁ぎに行こうとし、偽のパスポートで捕まってしまう。借金を抱えて路頭に迷い、子供を連れて祖父母の住む山奥の村に行く。最初は戸惑う子供たちだったが、やがて自然の豊かさに触れ、家族の絆に目覚めていくという愛おしいヒューマンドラマ。(上映時間 111分)

お申し込みはこちら
<https://x.gd/Nw1kr>



主催：バリアフリー字幕付き『アボン 小さい家』映画上映実行委員会
お問い合わせは、abon.smallhouse@gmail.comまで
協力：特定非営利活動法人サルボン、港区聴覚障害者協会